

第3学年1組 外国語活動学習指導案

令和2年1月22日（月）3校時

男子16名 女子9名 計25名

指導者 教諭 井手 敏彦

ALT Katharine

1 単元名 Unit-8 「What's this? 」 (これなあに?)

2 単元で身に付けさせたい力

○外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする力。(知識・技能)

○クイズを出したり答えたりする力。(思考力・判断力・表現力)

○相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする力。

(学びに向かう力・人間性)

3 言語材料

—会話—	
A : What's this?	B : Hint, please?
A : It's (a fruit.)	????
A : It's (green.)	B : It's a melon.
A : That's right.	
—単語—	
it hint sea 動物 (elephant/horse)	
spider	

—既出事項—	
I like blue.	Do you like blue?
Yes, I do.	No, I don't. No. Sorry
数 (1~50)	
果物・野菜・飲食物・動物・色・形・状態・気持ち	
what is this please	

4 単元について

○学習指導要領との関わり

(1) 聞くこと	イ 身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結びつける活動。
(3) 話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。
(4) 話すこと (発表)	イ 自分の好き嫌いや、欲しい物などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。

・「具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、既得の知識や経験と、他者から聞き取ったり、掲示やポスターなどから読み取ったりした情報を整理しながら、自分の考えを形成する」と学習指導要領に示されているような資質・能力の育成を図るため、外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませるための単元である。

・「児童の発信力強化に向けた英語指導力向上」との関わりについて

目の前の物が何かを尋ねたり答えたりする表現や、児童にとって身近な動物や野菜、動物を表す語を扱い、単元最後にはそれらを当てっこする「クイズ大会」を行なう。これまでの経験や慣れ親しんできた知識や技能を発揮し、児童が主体的に活動できるように仕組まれた単元である。

○児童観

昨年度から週に一回 1 単位時間（45 分）と朝の 15 分のモジュール（週 3 回）で児童たちは外国語にふれ合ってきている。外国語に関するアンケート調査では、次のような結果である。

質 問 項 目	肯定的回答の割合 (%)		
	6 月	9 月	12 月
1. 外国語の学習が好きですか。	84	88	92
2. 外国語の授業は楽しいですか。	92	96	96
3. 外国語の授業で楽しいこと（話すこと）	84	84	80
4. (聞くこと)	68	92	84
5. 外国語の授業で嬉しいこと（話せることが増えた）	88	100	92
6. (話していることがわかった)	88	96	88
7. (伝えたいことが伝わった)	92	92	88
8. 外国語で友達と積極的に話しているか。	48	88	96
9. わからないことを積極的に調べようとしているか。	60	68	76
10. 外国語は将来の生活のために大切だと思うか。	84	84	92

「外国語の学習が好き」「外国語の授業は楽しい」と感じている児童がほとんどで、全体的に意欲的で楽しい雰囲気の中で、学習を進めることができている。ただ、項目 9 の「積極的に調べる」はまだ好評価とは言えない。これから学年末を控え、ペアやグループ学習などの学び合い・教え合う姿勢もだんだん身に付いてきているこの時期、これまでの活動経験を生かして、「英語を使ったクイズを考え、英語で出す友達のクイズに英語で答える」という楽しく活動できる本単元で、積極的に調べ、積極的に英語で友達に関わり合う児童にしていきたい。

○単元観

聞く必然のある活動としてテキスト「Let's try (UNIT-8)」には、映像クイズ・ヒントクイズ・漢字クイズ・足跡クイズなどさまざまなクイズが組み込んである。問題やそのヒントなどを聞かないとクイズに答えられない状況を作り出すことで、児童の「聞く」意欲が高まるようこれらの活動を取り入れていく。そして、児童の興味・関心に合わせ、「これは何だろう？」と自然に尋ね合う必然性が生まれるような場面設定に配慮し、児童と共に豊かな活動を創りたい。

○指導観

指導に当たって、本単元の最後には、児童が身の回りのものについて、実際にクイズを作り、お互いに答え合う活動を設定する。国語科で学習した漢字や慣用句をクイズに取り入れるなど他教科と連動した問題作りにも目を向けさせたい。活動方法として、「I spy クイズ」や「ジェスチャークイズ」、「ステレオクイズ」などを挙げた。さまざまなクイズを体験することで、最終の活動に向けて、「こんなクイズを出したい」という意欲を高めていきたい。

また、児童の実態に応じて、個人問題やグループ問題などの活動形態を工夫する。「質問する」ということやそれに「答える」という表現は、初めて学習する内容なので、相手を替えながら繰り返しやり取りさせ、聞き慣れたり言い慣れたりできる機会を十分に確保したい。そして、今までに学習してきた言い方を活用して、その場に応じた言い回し（英会話）に取り込めないかと思わせたい。たとえ、自分の言いたい言葉が分からない場合でも、友達や教師に聞いて解決するような、主体的に取り組む態度を育てていきたい。

本授業はALTとのティームティーチング（TT）での指導形態をとる。ALTのネイティブな発音に触れさせるだけではなく、児童の言った英会話がちゃんと伝わる表現であったか判断する審査係であり、咄嗟に生まれた児童の質問（未習の単語や言い回し）に、「〇〇は英語ではこう言います。」とすぐさま的確に指導をする役割も担ってもらおう。また、ALT本人の自国の文化や習慣等を話す機会をもつことで児童の異文化理解にも役立てたい。加えて、県教委が示す<3E>のうちの2つ、「Entertainer」：教師が英語を使うモデルになることや、児童と一緒にゲームを楽しむ「Enjoy」ことを目指したい。

5 単元計画（5時間）

時	◆目 標 ○主な活動	◎評価
1	<p>◆外来語とそれが由来する英語の違いに気付くとともに、身の回りの物の言い方に慣れ親しみ、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>1. 【Let's play 1】「虫めがねにうつるものがなにか考えよう。」 （クイズ形式で、絵を見てそれが何かを推測させながらやり取りする。） ○シャッフルクイズ ○ステレオゲーム</p> <p>2. 【Let's Chants】「What's this？」</p> <p>3. 【Let's sing】「What's this？」</p>	◎不思議な絵を見て、それが何か考えたり、チャンツや歌などの活動に積極的に関わったりしているか。
2	<p>◆身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>1. 【Let's play 2】「えいぞうを見て、それが何か考えよう。」 ○かげ絵クイズ ○輪切りクイズ ○漢字クイズ ○足跡クイズ</p> <p>2. 【Let's sing】「What's this？」</p>	◎さまざまな「見る」クイズに答えながら、新しい言葉に慣れ親しもうとしているか。
3	<p>◆身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>1. 【Let's sing】「What's this？」</p> <p>2. 【Activity】「クイズ大会をしよう①（体験）」…教師が問題を出す。 ○3 ヒンツクイズ ○イメージクイズ ○なぞなぞ ○ジェスチャーゲーム ○慣用句クイズ ○漢字クイズ</p>	◎さまざまな「聞く」クイズに答えながら、問題を出す言い方や新しい言葉に慣れ親しもうとしているか。
4	<p>◆身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>1. 【Let's sing】「What's this？」</p> <p>2. 【Activity】「クイズ大会をしよう②（準備）」…児童が自身で問題作り。 ○クイズの出題方法や内容を考えて、クイズ大会の準備をする。</p>	◎個人や友達と一緒にクイズを考え、問題を出す言い方、ヒントをもらう言い方、答える言い方を身に付けようとしているか。

⑤ 本時	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。</p> <p>1. 【Let's sing】「What's this?」</p> <p>2. 【Activity】「クイズ大会をする。」</p> <p style="text-align: center;">①先生 (ALT/HMT) 問題 ②グループ問題 ③個人問題</p>	<p>◎身に付けた、問題を出す言い方やヒントをもらう言い方、答える言い方を使って、相手に伝わるような表現を工夫できたか。</p>
---------	--	--

6 本時の授業 (5 / 5時間)

(1) 身に付けさせたい力

○外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむために、相手に伝わるようクイズを出したり答えたりする力。

(2) 授業の視点

○身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、相手に伝わるように工夫するために、「クイズを出したり答えたりする活動」をすることは、自分の思いを伝えたり、表現の仕方を身に付けたりするための手段として有効であったか。

(3) 展開

分	学習活動	指導上の留意点及び指導者の関わり ○HRT (担任) ◎ALT
5	<p>1. Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> • Talk in pair. (ペアで挨拶+世間話) How are you? ⇒ I'm ~. Why? ⇒ Because, ~. • Response I see. そうかい。わかった。 Really? 本当? Me too. ぼくもいっしょだよ。 That's good. それはよかったね。 Oh, No! それはいかん。 That's too bad. それはたいへんだ。 Take care. お大事に。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「Eye Contact」「Clear Voice」を意識させ、ペアで挨拶や今日の調子などを話す。 • 相手の話にきちんと反応するよう促す。 ○どんな挨拶をし合ったか 2~3 組のペアに発表させたい。他の児童は聞きながら、誤りがあれば訂正し合ったり、英語での言い方がわからない場合があったりしたら、どう言えばいいのか考え合う活動も仕組みたい。 ◎ALT は英会話として通じているかジャッジしたり、児童からの質問に答えたりする。 ◎ALT は発音に誤りがあれば訂正する。
2	<p>2. Warm Up</p> <ul style="list-style-type: none"> • ♪ 「What's this?」を歌う。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>TODAY'S GOAL クイズ大会をしよう。</p> </div>		
25	<p>3. Activity 1</p> <p>○教師問題</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3 ヒンツクイズ • 発音 (pronunciation) クイズ 	<p style="text-align: center;">教師 児童</p> <p>◎ 「What's this? 」 ⇒ 「Hint, please.」</p> <p>「It's a ~. 」 ⇒ 「It's a □□.」</p> <p>「That's right.」 or 「No.」</p> <p>回答はグループで話し合い、小黒板にする。または、個人でホワイトボードに行なう。</p>

<p>10</p>	<p>4. Activity 2</p> <p>○グループ問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ STEREO クイズ (班 vs 班) ・ ジェスチャー クイズ (班 vs 班) ・ I SPY クイズ (班 vs 班) <p>5. Activity 3</p> <p>○個人問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's start the □ quiz. ・ Are you ready? ⇒ Yes! ・ Listen ! 聞いて! ・ Look ! 見て! 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ対抗クイズ <p>1 つのグループが出題し、もう一つのグループに考えさせ答えさせる。一人一つは必ず、英語で問題を出したり、答えたりできるようにする。他の4つの班は audience。</p> <p>○個人で考えたクイズを全体に問わせる。</p> <p><Listen (聞く) quiz></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字クイズ・なぞなぞクイズ・慣用句クイズ <p>What <i>kanji</i> (nazonazo/kan'yoku) is □ and △.</p> <p><Look (見る) quiz></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 影絵クイズ, 足跡クイズ等…TV 使用 <p>○質問の言葉や答えの言葉がわからない場合、</p> <p>How do you say “□□” in English ?</p> <p>How do you say “□□” in Japanese ?</p> <p>と質問させ、知らなかった新しい言葉を ALT や HRT から引き出し、全体で共有する。</p>
<p>3</p>	<p>6. Closeing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童：今日、学んだことの感想を発表する。 ・ HRT と ALT の感想を聞く。 ・ ALT と挨拶をする。 	<p>HRT は次時の予告をする。</p> <p>HRT : 「That's all for today.」</p> <p>Student : 「Thank you キャサリン先生！」</p> <p>ALT 「Give me five !」</p>

(4) 評価の観点

○身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を身に付けることで、相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりする活動に慣れ親しむことができたか。

座席表

